

篠山中学校 卒業証書授与式



3月17日(火)、町内の中学校で卒業式が行われました。篠山中学校最後の卒業生は、保護者や地域の方の見守る中、伝統ある学び舎を巣立ちました。

式典後の教室では、卒業生がそれぞれ家族や先生方に感謝の言葉を伝え、「卒業は悲しいけど、新しいステージに進んでいきたい」、「親元を離れるけど、自分の目標に向かってがんばりたい」、「自分らしく、なりたい未来に向かって努力したい」と笑顔で話しました。

最後は、在校生や地域の方が作るアーチをくぐり、3人は新たな一歩を踏み出しました。



3月24日(火)、町内の小学校で卒業式が行われ、平城小学校では43人が慣れ親しんだ学び舎を後にしました。歡送・出発の言葉では在校生と卒業生が向かい合い、一緒に過ごした大切な思い出を振り返り、感謝の気持ちを元氣いっぱい伝えました。

卒業生からは在校生に向けて「大切にしてきたことは、挑戦すること、仲間を思いやること。失敗しても大丈夫。自分や仲間を信じ、素敵な学校をつくってほしい」と伝え、お世話になった先生方や支えてくれた家族、見守ってくれた地域の方へお礼の言葉を贈りました。

最後に一人一人が「私の夢」として、「世界の舞台で戦うサッカー選手」、「みんなに喜んでもらえる保育士」、「みんなを安心させる家を作る建築家」などと力強く発表しました。



平城小学校 卒業証書授与式